

[水稲部門 平成29年度 指導参考資料]

事項名	水稲品種「青天の霹靂」における刈取始期の籾黄化割合		
ねらい	出穂後積算気温を目安とした「青天の霹靂」の刈取始期は900℃で、このときの籾黄化程度は「つがるロマン」、「まっしぐら」と異なることを明らかにしたので、参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 刈取始期の目安となる出穂後積算気温が900℃のときの籾黄化割合は、85%程度である。「青天の霹靂」における刈取始期の籾黄化割合は、「つがるロマン」、「まっしぐら」の90%程度と比べて低く、緑色を帯びた籾の混入は一穂当たりで4粒程度多い。</p> <p>2 籾黄化割合が85%のときの登熟歩合は90%程度である。</p> <p>3 籾黄化割合が85%のときの整粒歩合は90%程度で、検査等級では青米の混入による落等がみられない。</p> <p>4 出穂後積算気温が900℃（籾黄化割合が85%）と同1,000～1,100℃の登熟歩合の差は2ポイント程度である。</p>		
期待される効果	「青天の霹靂」の刈取始期における籾黄化程度を目安となる。		
利用上の注意事項	本資料は、m ² 当たり籾数が2.8万粒以内のときの結果である。		
問い合わせ先（電話番号）	農林総合研究所 作物部（0172-52-4396）	対象地域及び経営体	「青天の霹靂」作付地帯及び経営体
発表文献等	平成27～28年度 試験成績概要集（農林総合研究所）		

【根拠となった主要な試験結果】

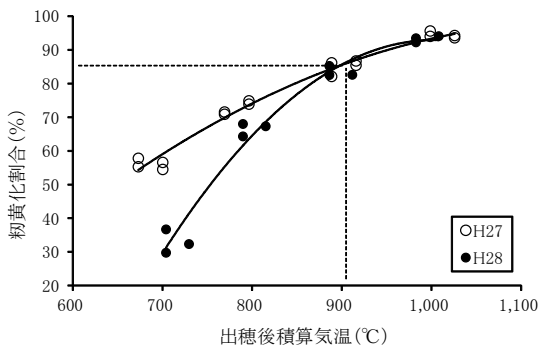


図1 糊黄化割合と出穂後積算気温
(青森農林総研 平成27、28年)

注) m²当たり粒数は2.1~2.7万粒 (図2~5も同様)

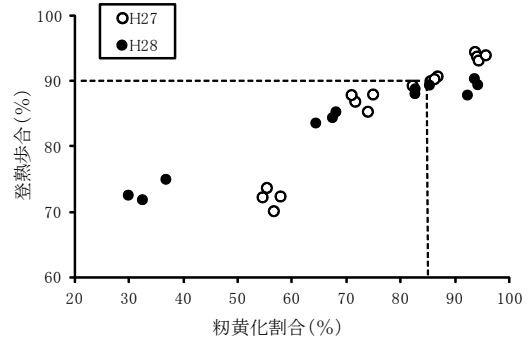


図2 糊黄化割合と登熟歩合
(青森農林総研 平成27、28年)

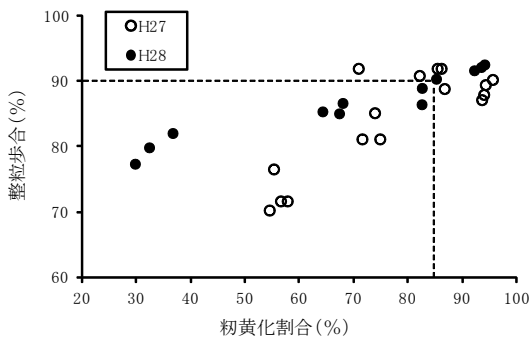


図3 糊の黄化割合と整粒歩合
(青森農林総研 平成27、28年)

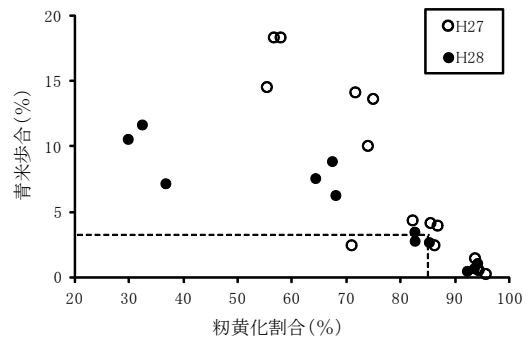


図4 糊の黄化割合と青米歩合
(青森農林総研 平成27、28年)

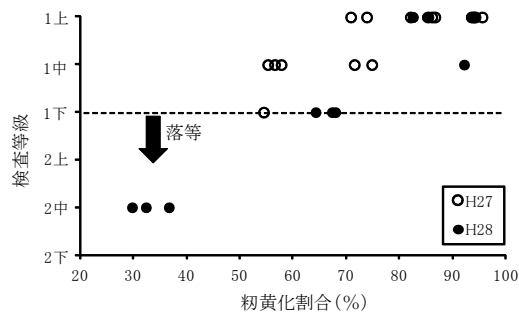


図5 糊の黄化割合と検査等級
(青森農林総研 平成27、28年)

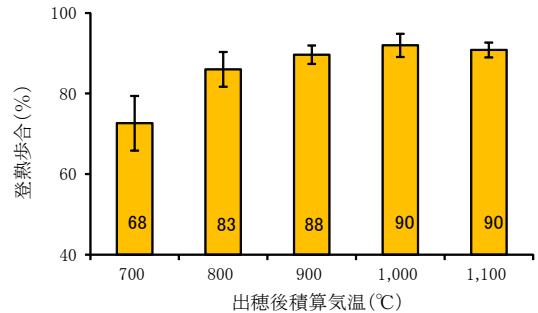


図6 出穂後積算気温と登熟歩合
(青森農林総研 平成26~28年)

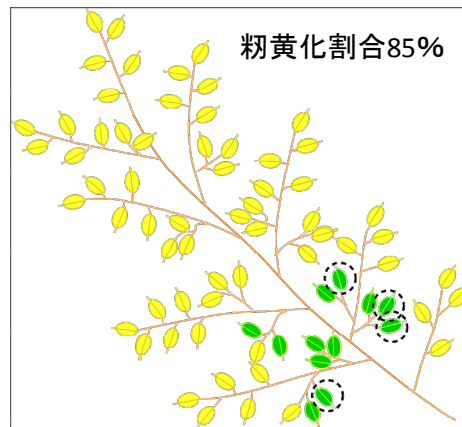
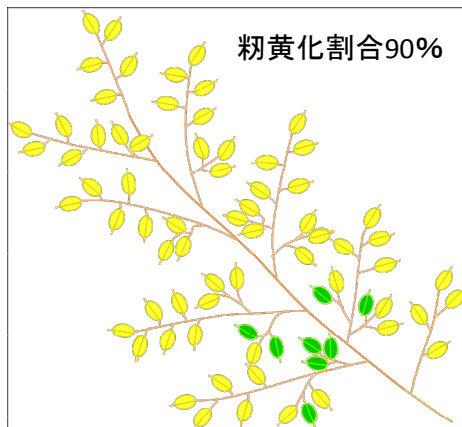


図7 糊黄化割合90% (左図) と同85% (右図) の穂の模式図